

第37回 御幸公園梅香事業推進会議

次 第

日時 令和7年11月21日（金）

午後2時00分から

会場 幸市民館 1階 大会議室

1 開会

2 議題

（1）報告事項

ア うめかおる寄附・募金について 資料1

（2）審議事項

ア うめかおる写真展及び川柳コンクールについて 資料2

イ 令和7年度観梅会の実施について 資料3

ウ 令和7年度観梅会チラシデザインの作品選考について..... 資料4

エ 御幸公園施設整備について 資料5

オ 歴史・文化の伝承に関する取組について 資料6

（3）その他

今後の幸区梅香事業について 資料7

3 閉会

参考資料：第36回梅香事業推進会議摘録

【資料1】

令和7年11月21日
御幸公園梅香事業推進会議

うめかおる寄附・募金の受付状況等について(報告)

1 令和7年度(R7.10.31現在)

種別	寄附者	件数	金額
寄附	個人	0 件	0 円
	企業等	0 件	0 円
募金	-	-	22,643 円
計	-	0 件	22,643 円

2 累計額(参考)

年度	種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
H29 ～ R02	寄附	個人	63 件	3,271,006 円	37 件
		企業等	17 件	1,318,000 円	17 件
	募金	-	-	66,161 円	-
	小計	-	80 件	4,655,167 円	54 件
R03	寄附	個人	6 件	220,000 円	3 件
		企業等	1 件	50,000 円	1 件
	募金	-	-	26,621 円	-
	小計	-	7 件	296,621 円	4 件
R04	寄附	個人	5 件	750,000 円	5 件
		企業等	1 件	100,000 円	1 件
	募金	-	-	14,666 円	-
	小計	-	6 件	864,666 円	6 件
R05	寄附	個人	0 件	0 円	件
		企業等	0 件	0 円	件
	募金	-	-	3,363 円	-
	小計	-	0 件	3,363 円	0 件
R06	寄附	個人	0 件	0 円	件
		企業等	0 件	0 円	件
	募金	-	-	42,074 円	-
	小計	-	0 件	42,074 円	0 件
計		-	93 件	5,861,891 円	64 件

うめかおる写真展及び川柳コンクールについて

幸区役所地域振興課

1 事業計画

(1) 令和8年度うめかおる写真展 【実施計画1－(2)関係】

目的：梅の名所として復活をめざす梅香事業の取組を周知し、梅の良さの再認識や市民一人ひとりが持つ御幸公園の梅林のイメージを醸成させていくため、写真展を実施する。

- ア 作品募集期間 令和8年2月20日（金）まで
- イ 区長賞等の授与 令和8年3月下旬（予定）
（幸区長賞、幸観光協会会長賞、幸区文化協会会長賞など）
- ウ 写真展開催期間
幸区役所 令和8年4月16日（木）～4月30日（木）（予定）
日吉出張所 令和8年5月7日（木）～5月21日（木）（予定）
- エ 受賞作品の活用
・「2026年さいわいガイドマップ」に掲載等

(2) 川柳コンクール 【実施計画6－(1)、(2)関係】

目的：御幸公園の梅林を後世に伝えていくためには、様々な機会をとおして次世代を担う子どもたちの記憶に残る取組が必要であることから、学校教育と連携して、子どもたちに地域と梅のことを知ってもらう機会として川柳コンクールを実施する。

- ア 対 象 幸区内の全市立小学校
- イ 募集期間 令和8年1月9日（金）まで
- ウ テ ー マ 「梅」、「御幸公園」
- エ 応募点数 1人1句
- オ 発 表 幸区役所展示コーナーにて展示
令和8年2月2日（月）～2月27日（金）（予定）
- カ 記 念 品 応募者全員に記念品を贈呈

2 令和8年度のスケジュール予定

R8				R9						
	4月	5月	6～10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
写真展	R8年度 写真展		募集要項の決定等			R9年度 募集・選考		表彰	展 示	
	受賞作品の活用（さいわいガイドマップ2026掲載など）									
川柳	内容の検討			募 集			展 示			

令和7年度観梅会（梅まつり）の実施について

1 観梅会の実施計画検討 【実施計画1－（3）、6－（3）関係】

今年度も、2/14（土）に、地域の出演者による催し物を含めたプログラムを基本とした「一日イベント」を、2/14（土）～23（日）に、梅林の開放を行う「期間イベント」を計画する。「一日イベント」については、風の影響や植樹式参加者・来場者の動線を考慮して、会場の配置等について精査する。

【2/14：一日イベント】

① 開会宣言・チラシデザイン採用者への感謝状等贈呈…**実施で調整**（DKC・企画課）

⇒ 昨年度は、式典および植樹式を実施した。今年度は、開会宣言・チラシデザイン採用者への感謝状等贈呈を中心に実施し、新たな植樹を予定していないことから、植樹式は行わない方向で調整する。

② 学習発表…**実施で調整（一部検討中）**（DKC）

⇒ 1)総合科学高校ボランティア部

梅の摘果など、日頃より維持管理に係る協力をいただいていることから、その成果物や取組内容を展示する等、実施に向けて調整する。なお、展示方法や場所については、風対策などを踏まえ検討・調整を行う。

2)幸高校の生徒が考えた特別企画（幸探究）【現在提案段階、検討中】

- ・バスケットゴールを活用したイベント（案）
- ・梅の実を活用したパウダーの作成（案）
- ・梅を活用したレジンづくり（案）

③ 演奏等（演舞、和太鼓、吹奏楽等）…**実施で調整**（企画課）

⇒ 演奏等のプログラムは、来場者に地域の文化と伝統芸能を知ってもらう機会であるとともに、小向付近の地域活動団体の発表の場であり、地域への愛着にも繋がることから、実施に向けて調整する。なお、演奏等の位置は、昨年度と同様に、天候の急変や来場者動線に影響の少ないグラウンド内での実施を予定している。

④ 野点茶会…**実施で調整**（企画課）

⇒ 昨年度と同様に、園路脇（グラウンド側）での実施に向けて調整する。なお、天候急変の場合の対策や安全確保策について、引き続き検討する。

⑤ 梅の枝を使った「バードコール」づくり…**実施で調整**（DKC・うめサボ）

⇒ 昨年度まで、御幸公園の梅の花を活用したレジン作りを行ってきたが、今年度は、梅の枝を使うことにより、梅に対する愛着の醸成にもつながる「バードコール」づくりの実施に向けて調整する。

⑥ 球場プレイパーク～親子で遊べる屋外遊び～…**実施で調整**（企画課）

⇒ 昨年度は、幸区盛り上げ隊・川崎市で木育を広め隊・日本フレスコボール協会が、野球場外野にて親子向けの遊びなどを行った。今年度も、幸区盛り上げ隊等による親子向けの遊びなどの実施に向けて調整する。

⑦ クイズラリー・梅むすび…**要検討**（DKC・うめサボ）

⇒ これまでの観梅会でも一定の評価を得ているが、幸高校による特別企画を検討しているため、今年度



バードコール

は見送りの方向とする。

⑧ 花手水・・・**実施で調整**（地域振興課）

⇒ R5 年度より実施しており、昨年度は花手水の製作体験を行った。今年度も実施に向けて調整する。

⑨ 飲食等販売・・・**実施**（企画課）

⇒ 昨年度と同様に、会場内に梅にちなんだ和菓子販売やキッチンカー等を誘致し、イベントを盛り上げる。

【2/14～23：期間イベント】

⑩ **保護柵の一部開放**・・・**実施**

⇒ 梅を間近でゆっくりと観賞いただくことで、より愛着を持ってもらう取組であり、来場者から一定の評価を得ていることから、今年度も実施する。

以上の検討を踏まえた今年度のプログラム案は以下のとおり。

一日イベント（今後調整）		期間中イベント
①開会宣言・感謝状等贈呈	⑥球場プレイパーク	⑩保護柵の一部開放
②学習発表	⑧花手水	
③演奏等(和太鼓、吹奏楽、演舞)	⑨飲食等販売	
④野点茶会		
⑤梅の枝を使ったバードコールづくり		

2 観梅会の日程について

★以下のとおりとする。（前回推進会議で了承済）

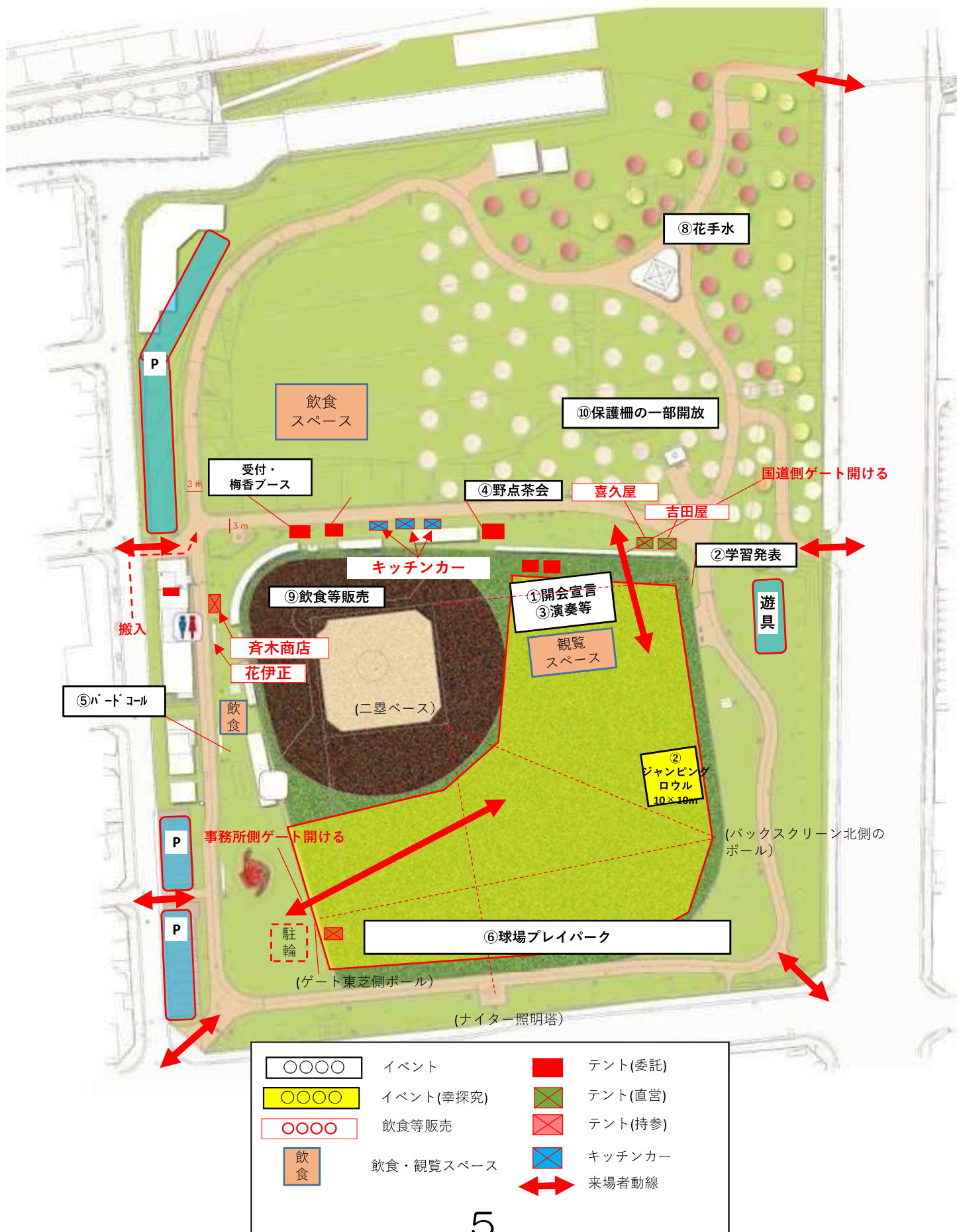
期間イベント：2月14日（土）～2月23日（日）の10日間

1日イベント：2月14日（土）

R8(2026)年2月

日	月	火	水	木	金	土
1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝
8 友引 ●ハナミズキコンサート ●みんなで子育てフェア	9 先負	10 仏滅	11 建国記念の日 大安	12 赤口	13 先勝 ★観梅会準備	14 友引 ★1日イベント ●多文化フェスタさいわい
15 先負	16 仏滅	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅	21 大安 ●大倉山観梅会
22 赤口 ●大倉山観梅会	23 振替日 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口
1 先勝 ●幸高校：卒業式	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝 ●総合科学高校：卒業式

会場レイアウト案(R6年度ベース)



令和7年度観梅会チラシデザインの作品選考について

【実施計画6－（3）関係】

令和7年度の観梅会チラシデザインについては、例年と同様に、以下のとおり選考を行います。

○事前に川崎総合科学高等学校デザイン科から3作品を受領（別添参照）

⇒ 委員による投票にて採用作品を決定

○作品選考の手順について

【推進会議前】

事務局より3作品を委員宛て、事前に送付済

【推進会議当日】

(1) 各委員が作品番号①～③のうち、最もふさわしいと思われる作品1点を選び、投票

（無記名投票）

※会議を欠席された委員については、事前に投票する作品番号を確認済

(2) 得票数が一番多い作品を採用作品と決定。なお、得票数が一番多い作品が2作品ある場合は、出席委員により、決選投票を行い、得票が多い1作品を採用作品と決定。

○その他

- ・採用作品制作者には観梅会の中で感謝状・記念品を贈呈する予定
- ・採用作品を用いて観梅会のチラシ等を今後、制作（文字情報等は適宜加筆修正）
- ・令和8年1月中旬～2月上旬頃に近隣小中高校・町内会等にチラシを配布する予定

観梅会

令和7年度
御幸公園

【観梅会イベント】

令和8年2月 日()

10:00~14:00(荒天中止)

梅を観ながら楽しめるイベントを開催します。

【梅鑑賞】

令和8年

2月 日()~2月 日()

期間中は梅林内を開放し、梅を間近で鑑賞できます。

御幸公園には大小さまざまな梅が29種236本！
品種が多いので、いろいろな梅の花が楽しめます。
梅を観ながら楽しめるイベントもご用意しております。

主催:御幸公園梅香事業推進会議、幸区役所

協力:〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇

問合せ:幸区役所道路公園センター(川崎市幸区下平間357-3)

TEL:044-544-5500 FAX:044-556-1650

令和7年度 御幸公園

観梅会

【観梅会イベント】

令和8年2月 日（ ）

10：00～14：00（荒天中止）

梅を観ながら楽しめるイベントを開催します。

【梅鑑賞】

令和8年2月 日（ ）～2月 日（ ）

期間中は梅林内を開放し、梅を間近で鑑賞できます。

御幸公園には大小さまざまな梅が29種236本！
品種が多いので、いろいろな梅の花が楽しめます。
梅を観ながら楽しめるイベントもご用意しております。

主催：御幸公園梅香事業推進会議、幸区役所

協力：〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇

問合せ：幸区役所道路公園センター（川崎市幸区下平間357-3）

TEL:044-544-5500 FAX:044-556-1650

デザイン：川崎総合科学高等学校デザイン科 西村 唯

観梅会

【観梅会イベント】

令和8年
2月 日()
10:00~14:00(荒天中止)

梅を観ながら楽しめるイベントを開催します。

【梅鑑賞】

令和8年
2月 日()~2月 日()

期間中は梅林内を解放し、梅を間近で鑑賞できます。

御幸公園には大きささまざまな梅が29種236本！
品種が多いので、いろいろな梅の花が楽しめます。
梅を観ながら楽しめるイベントもご用意しております。

主催:御幸公園梅香事業推進会議、幸区役所
協力:

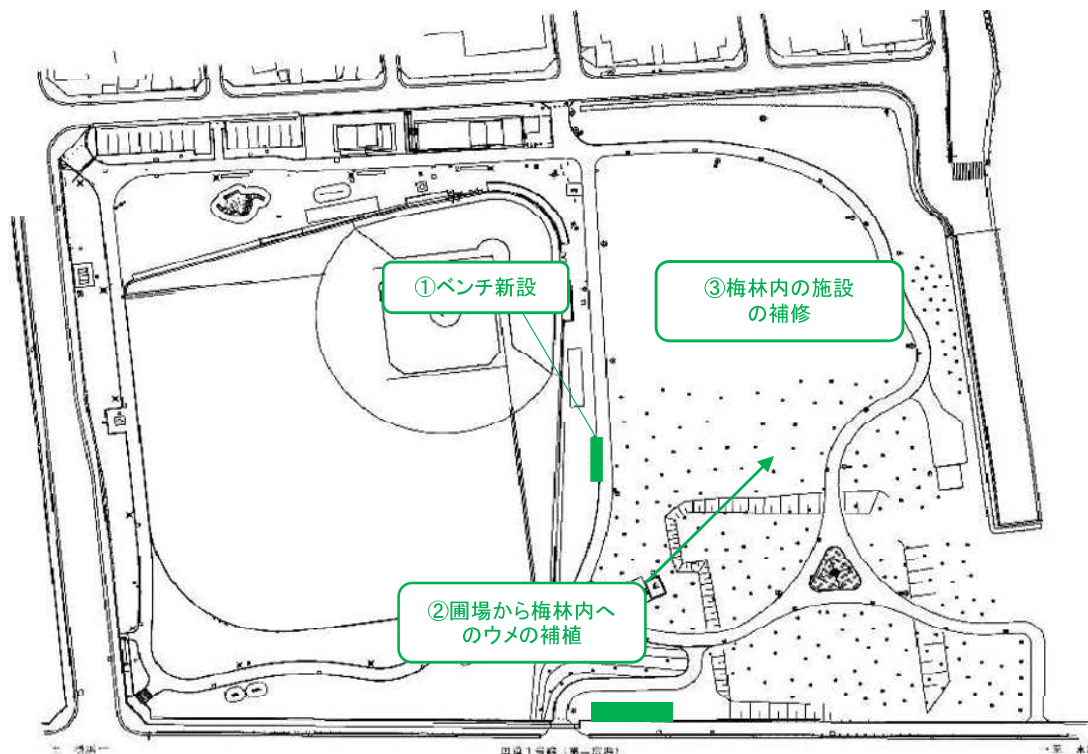
問合せ:幸区役所道路公園センター(川崎市幸区下平間357-3)
TEL:044-544-5500 FAX:044-556-1650

令和7年度の御幸公園施設（梅林）整備について

【資料5】

幸区役所道路公園センター 公園整備担当

令和7年度の御幸公園施設（梅林）整備について、ウメの補植、梅林内の施設の補修等を行います。



①ベンチの更新

梅林前に設置している老朽化したベンチ2基を新しいものに更新します。
また、ベンチをはじめとした憩いの場の増設については、利用状況や必要性、維持管理の面も含め、今後検討を進めていきます。

②ウメの補植

圃場内で育成しているウメが十分に成長してきたため、数本を梅林内へ移植します。

③梅林内の施設の補修

ロープ柵など、破損が見られる施設の補修を行います。



ベンチの更新（イメージ）



現在の圃場

歴史・文化の伝承に関する取組について

1 歴史・文化の伝承に関する取組の経緯

令和4年度は御幸公園のある小向を観梅の場所として世に広め、幸区の名前の由来にも関わった「成島柳北と小向梅林」をテーマとした講演会を実施した。

幸区の歴史をテーマにした講演会の開催については区民からのニーズも高いものの、文化の伝承にも着目し、歴史以外に興味関心を持つ人々の参加を狙い、令和5年度は梅ジャムを使ったお菓子づくりの講座を実施し、昨年度は華道の世界に広がる豊かな芸術文化を通して梅の花や木に親しむ講座を実施した。今年度も幸区文化協会華道部により、昨年度と同様の講座を実施する。

2 令和7年度関連事業

(1) 文化講座 テーマ「梅の花を愉しむ^{たの} ～梅を活けてみましょう～」

梅の花にまつわるお話や講師によるデモンストレーション、生け花体験を通じて梅の花や木などの自然に親しむ。観梅会の時期に合わせて実施することで、梅香事業全体への関心を高め、地域への愛着と誇りを育むきっかけとする。

事業（案）

日 時：令和8年1月25日(日) 10時～12時、14時～16時（全2回）

※内容は同一

場 所：幸市民館 実習室

内 容：講師によるデモンストレーションと梅の花についてのお話
生け花体験

（生け花体験の後は、フラワーアレンジメントにして参加者にお持ち帰りいただく予定）

定 員：各回10名

受講料：無料（材料費として1,500円当日徴収）

講 師：幸区文化協会華道部

広 報：幸市民館だより12月号に募集記事を掲載予定

チラシを作成し、関係機関等で配架予定

申 込：幸市民館のホームページ・電話、もしくはチラシに記載されている二次
元コードから申込み

12月1日（月）9時～1月15日（木）17時

【定員を超えたら抽選】 ※結果は1月20日（火）までにお知らせする。

(2) 幸図書館関連図書コーナーの設置

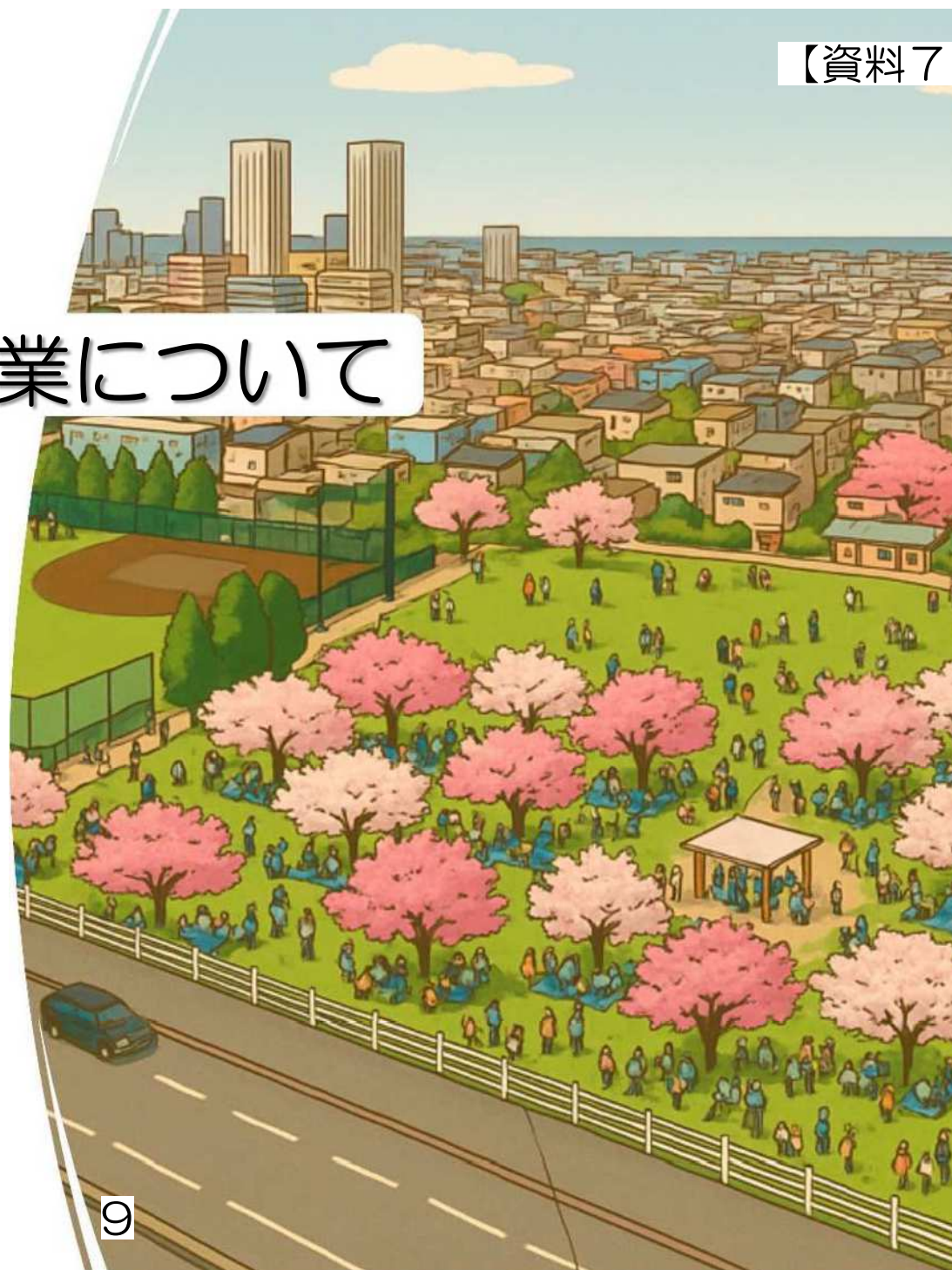
幸図書館職員と連携し、講演会に合わせて関連図書コーナーを図書館内に設置する。設置期間は、令和7年12月16日から令和8年1月18日までを予定。

（生涯学習支援課）

今後の幸区梅香事業について

川崎市 幸区役所

令和7年11月21日



今後の幸区梅香事業について

1. 幸区梅香事業について

「御幸公園梅香事業」は、当初の計画のうち、公園施設や梅林の整備が概ね完成するなど、達成している項目も多く、これまでの取組を継続していくことから、より区民の皆さんにわかりやすく示すため、「幸区梅香事業」は、3つの基本方針を定め、10の取組を推進してまいります。

基本方針	取組内容
1 魅力の発信	(1) 情報発信（様々な手法による広報）
	(2) 学校との連携による魅力発信（観梅会ポスター制作）
	(3) 写真展の開催
	(4) 観梅会の開催
2 梅林の保全	(1) 梅林等公園関連施設の適正な維持管理
	(2) 梅香サポーターとの協働による維持管理
	(3) 保全のための寄附制度の活用
	(4) 保全のための河川財団助成金の活用
3 次世代への継承	(1) 幸区内の小中学校への梅に因んだ学習（梅の実の摘果（収穫））
	(2) 川柳コンクールの実施

2. 会議体制案

これまでの「御幸公園梅香事業推進会議」に代わり、今後も梅香事業を広く展開し、発展させるため、「幸区梅香事業実行委員会」として運営してまいります。

この実行委員会では、年度ごとの予定の確認と前年度の実績報告や、事業の象徴となる「観梅会」のイベント企画の検討を行っていく体制を想定しております。

また、各委員におきましては、各団体から委員を御推薦いただく構成とし、行政と委員の皆様とで「共創」していく体制を構築してまいりたいと考えております。

幸区町内会連合会 会長	幸区町内会連合会 会長
幸区町内会連合会 副会長	幸区町内会連合会 副会長
幸区町内会連合会 副会長	幸区町内会連合会 副会長
幸区町内会連合会 副会長	幸区町内会連合会 副会長
幸区町内会連合会（古市場町内会）	株式会社東芝 小向事業所
幸区町内会連合会（小向仲野町新生会）	幸区老人クラブ連合会
株式会社東芝 小向事業所	幸区子ども会連合会
幸区老人クラブ連合会 会長	幸観光協会 専門委員
幸区子ども会連合会 会長	幸区文化協会
幸観光協会 専門委員	梅香サポーター ★追加
幸区文化協会 会長	小学校（御幸、西御幸、古市場）
小学校長（御幸、西御幸、古市場）	御幸中学校
御幸中学校長	総合科学高等学校
総合科学高等学校長	

3. 幸区梅香事業の具体的な取組①

【幸区梅香事業の主な目的】

幸区の地域資源である御幸公園の「梅」を通じて、幸区の歴史や地域に根付く文化の発信、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域愛の醸成を目指します。

基本方針 1 魅力の発信	取組内容（1） 情報発信（様々な手法による広報）
	取組内容（2） 学校との連携による魅力発信（観梅会ポスター制作）
	取組内容（3） 写真展の開催
	取組内容（4） 観梅会の開催

取組内容（1）情報発信（様々な手法による広報）

地域と共創

ホームページや市政だよりに加え、SNSの活用や地域住民による情報発信を行い、幸区梅香事業や御幸地区の歴史などについて、広く発信してまいります。

取組内容（2）学校との連携による魅力発信

学校と連携

観梅会や各種イベントの際、ポスターやイラスト作製など、川崎市立総合科学高校デザイン科と連携してまいりました。

今後も総合科学高校と連携した取組を継続するとともに、観梅会などイベントのほか、様々な機会を通じて、区内の小中学校とも連携した取組を実施してまいります。



取組内容（3）写真展の開催

行政が主体



梅香事業の取組を周知し、御幸公園や梅の魅力を発信するとともに、御幸公園における梅林のイメージを醸成し、幸区の魅力としての「梅」を地域に定着させていくため、写真展を開催してまいります。

取組内容（4）観梅会の開催

地域と共創

毎年、梅の花が見頃の時期（2月）に、御幸公園の梅林の景色を活かし、梅林の柵を一部開放して「梅の鑑賞」や、「野点茶会」や「獅子舞」など小向付近に伝わる伝統文化・芸能の実演について、市民との協働・連携により、観梅会を開催し、御幸公園のにぎわいを創出します。



今後の幸区梅香事業について

3. 幸区梅香事業の具体的な取組②

基本方針 2 梅林の保全	取組内容(1) 梅林等公園関連施設の適正な維持管理
	取組内容(2) 梅香サポーターとの協働による維持管理
	取組内容(3) 保全のための寄附制度の活用
	取組内容(4) 保全のための河川財団助成金の活用

取組内容(1) 梅林等公園関連施設の適正な維持管理

行政が主体

これまで整備してきた御幸公園内の梅林については、現在の梅の木を保全するため、現状を維持するとともに、枯損した際には補植を行ってまいります。

なお、区の周年行事等において、梅の木の記念植樹等も行っていけるよう、適宜対応してまいります。

また、散策路やベンチ、健康増進関連施設に加え、梅の育成のために設置している梅林を囲う柵や四ツ目垣など、景観の維持に努め、適正に管理してまいります。

取組内容(2) 「梅香サポーター」との協働による維持管理

地域と共創



梅林の適正な維持管理に向けて、これまでは、行政が主に管理してまいりました。行政だけの管理では、きめ細やかな管理は難しいことから、地域のボランティアである「梅香サポーター」との協働により、維持管理作業を効果的に進めてまいります。

また、維持管理だけではなく、イベントや近隣小学校との交流などにおいても、協働で取り組んでまいります。

取組内容(3) 保全のための寄附制度の活用

地域と共創

梅林の適正な維持管理に向けて、より多くの方々に参加していただく仕組みとして、寄附制度を活用します。過去には川崎市ふるさと応援寄附金制度を活用しており、梅香事業への寄附や募金を募ります。

また、寄附等につながる取組として、梅の実を活用して様々な商品を企業や梅香サポーター、地域の学校と連携して考案してまいります。



令和6年度製作「梅香YELL」

取組内容(4) 保全のための河川財団助成金の活用

行政が主体

河川財団の河川基金からの収益や(公社)ゴルフ緑化促進会からの交付金により、「河川基金助成事業」と「河川美化・緑化助成事業」という2つの助成事業を行っています。「河川美化・緑化助成事業」は、協力ゴルフ場水系内河川およびその近くに植樹等を行うとする地方公共団体などを対象に、助成を行っているものです。

梅香事業では、これまで、平成27年度から、「河川美化・緑化助成事業」助成金によって御幸公園での梅の植樹を行っており、令和5年度からは、維持管理にかかる助成金として活用しており、今後も御幸公園での梅林の維持管理に向けて、引き続き河川財団の助成を活用した維持管理を進めてまいります。

基本方針 3

次世代への継承

取組内容(1)
幸区内の小学校への梅に因んだ学習(梅の実の摘果(収穫))

取組内容(2)
川柳コンクールの実施

取組内容(1) 幸区内の小学校への梅に因んだ学習

学校と連携

幸区では郷土の歴史資産の一つに小向梅林があり、地域愛の醸成のため、幸区の歴史や御幸公園の梅林について、総合学習等の機会を活用し、子どもたちに伝えていく取組を進めてまいります。

併せて、梅香サポーターの協力の元、梅の実の摘果(収穫)の作業も体験してもらい、楽しみながら学習する機会を構築してまいります。



取組内容(2) 川柳コンクールの実施

学校と連携



御幸公園の梅林を後世に伝えていくため、次世代を担う子どもたちの記憶に残る取組として、これまで区内の5つの市立小学校や区民祭来場者を対象として、川柳コンクールを実施してまいりました。令和5年度からは、区内の全市立小学校を対象に拡大し、500を超える作品が寄せられており、今後も川柳コンクールを実施することで、幸区の魅力としての「梅」を発信するとともに、次世代への継承の取組を推進します。

4. 年間スケジュール(イメージ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観梅会							●区民祭(10月中)		準備		●肉雁(2月中)	
川柳コンクール							内容検討			募集		展示
写真展							展示 区役所 展示 日吉出張所				写真募集・選考	表彰 (3月末)
実行委員会						●第1回(8月上)			●第2回(11月下)			
梅香サポーター							●第1回(第3木)	●第2回(第3木)	●第3回(第3木)		●第4回(第3木)	観梅会準備

今後の幸区梅香事業について

5. 御幸公園梅林の維持管理の考え方について

梅林には、花を長く楽しめよう、開花期の異なる品種を植え、実も花も楽しめよう、実梅と花梅を植えてまいりました。

なお、四阿（あずまや）を境に、南側には、かつての小向梅林で栽培されていた品種（白加賀、豊後、鶯宿など）を主とした白梅を中心のエリアとし、北側には、華やかさや見ごたえを意識した紅梅中心のエリアとして整備し、その後は、全体のバランスを考慮しながら、29品種、240本の梅を植えてまいりました。

また、植樹に際しては、地域の皆様の寄附を充てさせていただいたものや、河川財団からの助成金や市民100万本植樹運動により、行ってまいりました。

このように、これまで地域と行政が一体となって整備された「御幸公園梅林」は、以下の考え方に沿って維持管理を行い、今後も良好な空間を維持してまいります。

◎現在の梅の本数を維持すること

枯損した際には、捕植を行っていくものとし、今後、幸区や市制の周年記念行事の際には、記念植樹を実施します。また、近隣都市からの梅の木の移植の受け入れなども検討してまいります。

◎梅林等公園関連施設を適正に維持管理すること

現在の施設の状況を維持し、補修が必要な場合には、迅速に対応します。

◎梅以外の樹木を入れないこと

地域からの要望があった場合でも、現在の梅林内の区画には、梅以外の植物は植えません。

このように梅林の維持管理の考え方を定め、守っていくことで、梅香事業の象徴となる「観梅会」や様々な取組を通じて、御幸公園の梅林と幸区の「梅」を市内外へ幅広く発信できるものと考えております。御幸公園梅林が、幸区の地域資源として、これまで以上に魅力が向上し、幸区民の皆さんが誇れる場所となれるよう目指してまいります。

6. 持続可能な「梅香事業」に向けて

梅香事業は、平成27年度から令和7年度まで様々な取組を実施し、その中でも象徴ともいえる「観梅会」は、平成29年度から始まり、令和6年度まで、8回開催いたしました。

第1回の観梅会は、約100人の来場者でスタートしましたが、令和6年度には、約3,000人が来場していただけるまでに規模も拡大してまいりました。途中、コロナ禍の影響を受け、令和2年度に約700人、令和3年度に約600人まで落ち込みましたが、地域や教育機関の皆さんの御協力により、その後は大勢が来場するまでに回復することができました。この来場者数を指標に評価をすることは難しいと存じますが、御幸公園の梅の魅力や存在は、多くの市民の皆さんに訴求できているものと考えております。

これまでの梅香事業の取組は、推進会議と幸区が主催してまいりましたが、将来的には、地域の皆さんを主体とする「共同開催」を目指してまいりたいと考えております。

また、ボランティアである「梅香サポーター」の発展と育成を目指すとともに、サポーターとの情報交換を積極的に行ってまいります。

令和 7 年度 第 3 6 回御幸公園梅香事業推進会議 摘録

日 時	令和 7 年 8 月 7 日（木） 1 4：0 0～1 5：1 5		
場 所	幸区役所 4 階 第 4 会議室		
議 題	1 令和 7 年度 各課事業報告について (1) 観梅会実施報告（企画課） 資料 1 (2) うめかおる 寄附・募金の受付状況（報告）（総務課） 資料 2 (3) 御幸公園施設（梅林）の整備について（道路公園センター） 資料 3 2 令和 7 年度 各課事業計画について (1) 観梅会の開催について（企画課） 資料 4 (2) うめかおる 写真展及び川柳コンクール（地域振興課） 資料 5 (3) 歴史・文化の伝承に関する取組（生涯学習支援課） 資料 6 (4) 市民との協働の取組（道路公園センター） 資料 7 (5) 令和 7 年度御幸公園施設整備予定（道路公園センター） 資料 8 3 その他 御幸公園梅香事業の今後について（道路公園センター） 資料 9		
出席者	□委員 幸区町内会連合会 中川 潔 委員長 幸観光協会 加藤 邦彦 副委員長 幸区町内会連合会 高橋 吉明 委員 幸区町内会連合会 加藤 亨 委員 幸区町内会連合会 岩澤 達夫 委員 古市場町内会 富永 和吉 (伊東 信子 委員代理) 小向仲野町新生会 平林 吉成 委員 幸区老人クラブ連合会 泉 宣枝 委員 幸区子供会連合会副会長 神谷 厚子 委員 幸区文化協会会長 市川 よし子 委員 川崎総合科学高等学校校長 濱野 雄功 委員 □関係者 副区長 勝野副区長 総務課 郷野課長 企画課 塚本課長、林課長補佐、奉養主任 地域振興課 仲藤課長、吉成係長 生涯学習支援課 加藤課長 □事務局 道路公園センター 沼田所長、山口担当課長、村石担当課長、星野担当課長、中村課長補佐、浅見課長補佐、白川主任、齋藤職員、山田職員、峯職員、熊谷職員		
欠 席	御幸中学校校長 吉村 尚記 委員 御幸小学校校長 滝口 太志 委員 (株)東芝小向事業所 伊延 次郎 委員 区長 山口 美穂 顧問		
傍聴者	0 人		
決定事項	各課からの議題については、提案のあったとおり進めることとする。		

(事務局から次の事項を説明し、了承を得た)

- ・ 川崎市審議会等の会議の公開に関する条例における会議公開の対象となっているため、傍聴を許可していること。
- ・ 行政の記録や市政だより等への資料のため、写真撮影及び録音を行うこと。

I 委員長挨拶

本日は酷暑の中、御幸公園梅香事業推進会議ご参加いただき誠にありがとうございます。このところの暑さもあり御幸公園の梅林の状態についても心配しております。

観梅会の来客者は、令和5年度は約2300名、令和6年度は約3000名ということで聞いております。年々来客者が増えてきておりますが、観梅会のみならず、梅林が幸区区民にとって、憩いの場となり、他の地区からも幸区といえは梅林があると思ってもらえるように、多く広めていきたいと思っております。

梅林での植樹を増やしていく、というより、サポーターを増やす等、皆様と梅林の維持管理をいかに行っていくかという点に重きを置いていきたいと思っております。

II 議題

1 令和7年度 各課事業報告について

議題1(1) 観梅会実施報告(企画課)【資料1】

1. 事業報告

- ・ 【資料1】を説明。
- ・ 昨年度は、イベント参加人数が3000人ほどいた。
- ・ 実施時の怪我やトラブル等はなかった。
- ・ 実施後アンケートでは328件の回答のうち、満足頂いたとの回答がほとんどであった。
- ・ 次回に向けたイメージとして、当日イベントの開催は、開花状況を踏まえて2月中旬が妥当と考えており、昨年度に引き続き飲食店出店、音楽演奏等を検討している。各イベントの配置については、昨年度と同じ予定である。悪天候時の対策については引き続き検討する。

2. 質疑や意見

(観梅会の感想について)

委員長 : 去年以上に観梅会のアピール度を上げていく事を考えていきたい。

神谷委員 : 去年、一昨年と、子供たちが参加できるイベントが増えて、イベントの参加人数も増えてきているので、これからはいろんなイベントを考えていってほしい。

議題1(2) うめかおる寄附・募金の受付状況(報告)(総務課)【資料2】

1. 事業報告

- ・ 【資料2】を説明。
- ・ 今年度から報告のみとなっている。

2. 質疑や意見

(アピール度について)

委員長 : 募金箱をもう少し大きくできないか、アピール度を高めていきたい。

事務局 : 昨年に募金のポスターを作成して、募金額が昨年度と比べ大幅に増えている。今後も、より多くの募金をお寄せいただけるような方法を検討していく。

議題1(3) 御幸公園施設(梅林)の整備について(道路公園センター)【資料3】

1. 事業報告

- ・ 【資料3】を説明。
- ・ 擬木柵の設置、ベンチの新設、梅の補植・新植を行った。

2. 質疑や意見

(御幸公園の梅林アピール度について)

市川委員 : ベンチをもう少し増やしてもいいのではないか。

: 今後憩いの場として活用するにあたってベンチを増やす予定はあるのか。

事務局：昨年度開催した緑化フェアで、展示したパレットベンチを御幸公園内に設置する等といった、憩いの場を増やしていく考えはある。しかし、ベンチを増やしていく検討はするものの、ベンチを増やしすぎると、ゴミが増えるなど他の課題が出てくることもあるので、バランスよく整備していきたいと思っている。

平林委員：大田区池上にある梅林があるがそこに対抗するために梅を増やしていく予定はあるのか。また池上の梅は何本生えているか把握をし、梅を何本ぐらい埋めていくと考えているのか

事務局：池上の梅の本数は把握していないが、当初の予定は180本と予定をしており、予定よりも大幅に植樹できている状況になっている、今後の梅香事業をどう進めていくかを委員の皆様と協議をしていき、梅を今後どれくらい増やしていくかは協議事項になってくる。

2 令和7年度 各課事業計画について

議題2（1）観梅会の開催について（企画課）【資料4】

1. 事業計画（案）等の説明

- ・【資料4】を説明。
- ・観梅会の開催について、2月14日前後を第1希望として日程調整予定である。

2. 質疑や意見

委員長：PRの方法について、市政だよりだとなかなか読む人読まない人がいて、差があるのでタウンニュース等で観梅会の時期の前振りをした方がいいのではないかな。
観梅会についてはYOUテレビに伝えれば来てくれるので検討をお願いしたい。

3. 令和7年度の事業計画について

委員長：観梅会の1日イベントの開催日を令和8年2月14日とし、この案で進めてください。

議題2（2）うめかおる写真展及び川柳コンクール（地域振興課）【資料5】

1. 事業計画（案）等の説明

【資料5】を説明。

2. 質疑や意見

副委員長：貰った報告書に絵画コンクールとあるが過去に行っていたのか。

事務局：推進計画が制定された時、絵画コンクールという名称を使い実施していたようだが、今は川柳コンクールを実施し浸透してきている。

副委員長：観梅会の会場に川柳コンクールの作品を展示することは可能か。

事務局：観梅会の中で検討していきたいと思っている。なるべく多くの展示をしていきたいと思っている

神谷委員：作品の展示をすることで生徒も保護者の方も興味を持ちすごくにぎやかになると思うのでぜひ検討してもらいたい。

3. 令和7年度の事業計画について

委員長：この案で進めてください。

議題2（3）歴史・文化の伝承に関する取組（生涯学習支援課）【資料6】

1. 事業計画（案）等の説明

- ・【資料6】を説明。

2. 質疑や意見

- ・特になし

3. 令和7年度の事業計画について

委員長：この案で進めてください。

議題2（4）市民との協働の取組（道路公園センター）【資料7】

1. 事業計画（案）等の説明

- ・【資料7】を説明。
- ・総合科学高等学校ボランティア同好会の方には梅林の維持管理として、圃場への水やりを継続して行ってもらっている。
- ・梅の実の摘果を5月23日に実施
- ・うめサポについて、昨年度と同様の取り組みに加えて、今年度は梅の木の剪定講習会を9月17日に開催予定。10月18日の区民祭における梅香ブースでの取り組みを行う。梅サポーターは現在22名で、今年度に入り2名新たに登録をしてもらった。
- ・今年度も昨年度に引続きクラフトビールを東海道 BEER 川崎宿工場に造ってもらっているが、昨年度より1.5倍の分量で梅を渡している。

2. 質疑や意見

（梅香サポーターの人数について）

副委員長：摘果作業と記載があるが、収穫と書かないのはなぜか

事務局：梅香事業については、梅の花を楽しんでもらうことが目的となっていて、梅の実の花の為にしないので、摘み取るということが花のためになる事もあり、摘果と記載している。

副委員長：理解したが、今後は収穫と書いても良いのではないか

事務局：収穫祭として事務局側も行っていきたいが、収穫祭とすると、大勢の人が参加した場合、皆さんの手に渡るか不安なところがある。区長からも意見をもらい、今後のやり方については、より多くの人に楽しんでもらえるように検討していく。

副委員長：摘果の前に無断で実を摘み持ち帰る人がいると聞いているが、今年はどれだけの人が持ち帰ったのか。

事務局：正確にどれだけの人が行ったかは不明だが、うめサポの方の巡回協力もあり、未然に防いだ事実はある。

委員長：この案で進めてください。

議題2（5）令和7年度御幸公園施設整備予定（道路公園センター）【資料8】

1. 事業計画（案）等の説明

- ・【資料8】を説明。
- ・ベンチ新設、梅の補植、梅林内の施設の補修

2. 質疑や意見

（最終的な形について）

委員長：老朽化しているベンチは数多くあると思うが2基だけでいいのか。

事務局：予算の都合もあるため、一気に行うことはできない。

3. 令和7年度の事業計画について

委員長：この案で進めてください。

議題2（6）御幸公園梅香事業の今後について（道路公園センター）【資料9】

1. 事業計画（案）等の説明

【資料9】を説明。

2. 質疑や意見

加藤委員：今後、規模感含めて、どのような梅林にしたいかという具体的な構想を持つ必要があると思う。例えば、明治天皇が鑑賞した梅林の復活を謳うのであれば、その梅林が具体的にどのようなものだったかを把握しなければならないし、その維持管理の手法を学ぶために、他の自治体の規模の大きい梅林の事務局に赴き必要なことを学ばなければならない。そのあたりをどのように考えているか。

事務局：過去平成27年から3年間、三溪園をはじめ有名な梅園を見学はしている。しかし、見学以

上の事となると、公園の形態、管理者のことや、入場料の有無等、条件が違ってくる。できる限り委員のご意見に近づけるような形を取れるよう検討し、お示しできるようにする。

副委員長 : 取組状況の報告の中で、未達のもの3つほどあったが、それらも細かく見ていけば達成できていると思う。令和6年の観梅会には3千人を超える人が訪れ、大きく素晴らしい成果を残すことができた。この要因を事務局はどのように考えているか教えてほしい。また、今後の取組の中で、植樹、収穫（摘果）、観梅という3つのそれぞれのイベントで集客するにあたり、広報のやり方が重要になると考えるため、よく検討してほしい。

事務局 : 集客増の要因に関しては、委員の皆様や地域の皆様のご協力あつての物だと思う。文化協会さんが実施している野点や、総合高校さんや御幸中学校さんによる演劇や演奏等の発表等もあり、梅を見る事だけが目的でなく、子供たちも多く集まってくるようになった。

市川委員 : 茶道部の先生方から、野点が継続するのであれば、協力させていただきたいとお話を受けている。幸区や御幸公園の名前の由来が明治天皇の小向梅林への行幸である事等、歴史のPRも必要と感じる。ホームページ内の説明においても、そういった歴史についても記載し、学校の子供たちにも知ってほしい。そのような取組を、学校や教育委員会と連携してやっていただきたい。

事務局 : 承知した。取組について検討する。

1 第37回御幸公園梅香事業推進会議の開催予定

事務局 : 次回の御幸公園梅香事業推進会議は、令和7年11月21日（金）14時からを予定しています。

2 参考資料

参考資料1 : 令和7年度御幸公園梅香事業スケジュール

参考資料2 : 御幸公園梅香事業実施要綱

参考資料3 : 御幸公園梅香事業推進会議設置要綱

参考資料4 : 御幸公園梅香事業庁内連絡会議設置要綱

参考資料5 : 御幸公園梅香事業推進会議名簿

参考資料6 : 第34回御幸公園梅香事業推進会議議事録

以上